

北海道大学国際連携機構国際教育研究センター主催  
2018年度 日本語・日本語教育研修会

## コーパスの中を見る： コーパスからの情報抽出と抽出データの 意味づけにかかわる諸問題

滝沢直宏氏  
(立命館大学・言語教育情報研究科 教授)

巨大な言語資料であるコーパスを用いる際には、コーパス分析用のソフトを使うことが一般的です。しかし、こうした利用では、コーパスをブラックボックスとして扱うことになり、研究上、問題が生じる可能性があります。それを避けるには、コーパスを構成している生のテキストを実際に「見る」ことが必須です。それによって、コーパスがどのように構成されているのかを理解することが可能となります。本講演では、一般的に使われている英語および日本語のコーパスの中を「見る」ことで、コーパスからの情報抽出で考慮すべき点や、抽出されたデータの解釈に関する諸問題を考えます。

記

とき： 8月31日（金） 15:00～16:30（14:30 受付開始）

ところ： 北海道大学 国際連携機構 国際教育研究センター

（2階大講義室 209）

<https://www.hokudai.ac.jp/>（大学）

<https://www.oia.hokudai.ac.jp/cier/>（国際教育研究センター）

事前申込：<https://goo.gl/forms/jPelztZudik00ttl3>



当日参加も可能ですが、人数把握のため、参加ご希望の方は可能であれば、上記フォームにて8月13日（月）までにご連絡下さい。ふるってのご参加をお待ちしております。

問い合わせ先： 小林由子 yoshikoba[at]oia.hokudai.ac.jp

（北海道大学国際連携機構国際教育研究センター）※ [at]は@に置き換えてください